



- 5月21日 13:00～16:00 相互乗り入れ電車試乗会①
16:30～18:00 中部地区路面電車愛好支援団体会議 (AOSSA 6F 607会議室)
18:30～20:30 ウェルカムパーティ (AOSSA 3F ウェルアオッサ)

5月22日 9:00～12:00 ■ウェルカム企画 会場：ハピテラス (福井駅西口ハピリン屋根付き広場)

- 9:00～11:30 モビリティセンター : のりのり MAP 販売など
相互乗り入れ電車試乗会②
9:00～12:00 交通事業者ブース (京福バス、えち鉄、福鉄)
路線マップや時刻表案内、企画旅行案内グッズ販売
10:00～12:00 ミニコンサート (高橋涼子他)
ステージイベント (未定)
11:00～11:30 新バスターミナル説明会 (京福バス担当者)
※対象は主に中部地区路面電車サミット参加者



- 13:30～17:00 ■中部地区路面電車サミット 会場：ハピリンホール (ハピリン3F) 開場13時
13:30 開会の挨拶
13:40～14:00 相互乗り入れの全体像説明 (福井県交通まちづくり課)
14:00～15:20 講演：『つながる鉄道、つながる市民～交通まちづくりが楽しく社会』
講師：関西大学 経済学部 教授 宇都宮 浄人 氏
15:30～17:00 パネルディスカッション
コーディネーター：川上洋司福井大学大学院教授
パネリスト：中西賢也福井市特命幹、豊北景一えちぜん鉄道社長
村田治夫福井鉄道社長、天谷幸弘京福バス社長
パネルディスカッションテーマ 『福井の公共交通の未来』

主催 NPO 法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)
共催 福井鉄道福武線サポート団体等協議会、中部地区路面電車愛好支援団体協議会
後援(予定) 国土交通省中部運輸局福井運輸支局、福井県、福井市、鯖江市、越前市、福井商工会議所
えちぜん鉄道株式会社、福井鉄道株式会社、京福バス株式会社、まちづくり福井株式会社

☆☆活動報告☆☆

4月28日ハピリン・ハピテラス開業
5月14～15日
全国バスマップサミット (松山市)
17日 5月例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

5月21 (土) ～22日 (日)
中部地区路面電車サミット
22日 (日)
人と環境にやさしい全国大会実行委員会
28日 (土) 定例総会 (AOSSA 603号室)

各位

NPO 法人ふくい路面電車とまちづくりの会
会長 内田佳次

第 15 回 中部地区路面電車サミット 2016 福井大会 企画案

1. 中部地区路面電車サミットの経過

中部地区路面電車サミットは、全国路面電車サミットが約 2 年に一度開催されるなか中部地区の愛好支援団体同士がさらなる親密化とより深い情報交換をはかり、地域鉄道の活性化とまちづくりを推進しようと、2002 年に豊橋市から始まりました。中部地区の地域公共交通問題が路面電車に限らず多岐にわたっていることから、第 7 回関大会以降地方鉄道の活性化まで広げて開催しています。

これまでの開催状況は以下のとおりです。

< 中部地区路面電車サミット開催状況 >

第 1 回	2002	豊橋市	第 2 回	2003	高岡市
第 3 回	2004	岐阜市	第 4 回	2005	福井市
第 5 回	2006	豊橋市	第 6 回	2007	高岡市
第 7 回	2008	関市	第 8 回	2009	富山市
第 9 回	2010	豊橋市	第 10 回	2011	桑名市
第 11 回	2012	静岡市清水区	第 12 回	2013	福井市
第 13 回	2014	高岡市	第 14 回	2015	豊橋市
第 15 回	2016	福井市 (予定)			

2. 福井大会の開催意義

福井ではこれまで京福電鉄（現えちぜん鉄道）と福井鉄道が廃線の危機にありましたが、鉄道事業者、行政、地域住民の存続・再生の熱意により復活することができました。さらには、鉄道を単なる移動手段ではなく地域に必要な「社会的なインフラ」として位置付け、路線の基盤強化、車両の更新、駅施設やホームの改良を進めた結果、これまで以上に地域に密着した鉄道に変貌しています。

地域公共交通網を考えた時、福井鉄道福武線は市内中心部の軌道線と郊外を結ぶ鉄道線で成り立つトラムトレインが一部出来上がっているものの、えちぜん鉄道との連携が地域課題として残っています。そのうえで、今後到来する人口減少社会やクルマ中心の社会に対処するためには更なる利便性を利用者に提供しなければなりません。新幹線を含めた鉄道、バス、クルマとの乗継や駅を中心としたまちづくりとの連携がますます求められているところですが、平成 28 年 3 月 27 日に西口バスターミナル開業と併せ田原町駅でのえちぜん鉄道・福井鉄道の相互乗り入れも同日にスタートしました。一連の福井駅西口再開発事業が 4 月 28 日ハピリン開業でほぼ完了し、まさにまちづくりとともにある LRT（ライト・レール・トランジット）と呼ぶにふさわしい姿が具体化されつつあります。

つきましては、この新しく公共交通の流れが変わろうとしている福井の地に中部地区をはじめ全国各地の関係者にお越しいただき、2 日間を通じてこれからの福井の公共交通と新しいまちづくりを体感していただきたいと思っております。

3、中部地区路面電車サミット 日程とスケジュール

テーマ 『つながる鉄道、夢あるまちづくり』

サブテーマ ～鉄道再生から LRT へ～

★日時：平成 28 年 5 月 21 日（土）13:20～5 月 22 日（日）17:00

★場所：福井駅西口再開発ビル（愛称「ハピリン」）および AOSSA

★タイムスケジュール

5 月 21 日 13:20～16:05 相互乗り入れ電車試乗会（えちぜん鉄道福井駅 13:20 集合 16:05 福井駅着）

16:30～18:00 中部地区路面電車愛好支援団体会議（AOSSA 6F 607 会議室）

18:30～20:30 ウェルカムパーティ（AOSSA 3F ウェルアオッサ）

5 月 22 日 9:00～12:00 ■ウェルカム企画 会場：ハピテラス（福井駅西口再開発ビルの屋根付き広場）

9:00～10:30 ビデオセッション（愛好支援団体による映像上映会）

9:00～12:00 交通事業者ブース（京福バス、えちぜん鉄道、福井鉄道）

路線マップや時刻表案内、企画旅行案内、グッズ販売

10:30～12:00 ミニコンサート（高橋涼子①10:30～②11:30～2 ステージ）

11:00～11:30 新バスターミナル説明会（京福バス担当者）

※対象は主に中部地区路面電車サミット参加者

13:30～17:00 ■中部地区路面電車サミット 会場：ハピリンホール（ハピリン 3F）

13:00 開 場

13:30～13:40 開会のあいさつ

13:40～14:00 『相互乗り入れから始まる福井の公共交通』

福井県総合政策部交通まちづくり課課長 猪嶋宏記

14:00～15:20 講 演： 『つながる鉄道、つながる市民

～交通まちづくりが築く社会～』

講演者：宇都宮浄人 関西大学経済学部経済学科教授

15:20～15:30 休 憩

15:30～17:00 パネルディスカッション

コーディネーター：川上洋司福井大学大学院教授

パネリスト：中西賢也福井市特命幹、豊北景一えちぜん鉄道社長

村田治夫福井鉄道社長、天谷幸弘京福バス社長

パネルディスカッションテーマ 『福井の公共交通の未来』

17:00 閉 会

※参加料は無料ですが、資料代として 500 円程度を予定

えち鉄・福鉄の線路は66年前に繋がっていた

～えちぜん鉄道・福井鉄道相互乗り入れ開始について思うこと～

岸本雅行

3月27日に、えちぜん鉄道・福井鉄道の相互乗り入れがようやくスタートしました。えちぜん鉄道・福井鉄道の田原町駅ホームひとつを隔てて、以前は両鉄道の電車が別々に走っており、線路を繋いで相互乗り入れをするということは、福井県民にとって長年の夢でした。地方私鉄同士の相互乗り入れ、さらに鉄道線と軌道線の相互乗り入れも全国初ということで、大きな注目を浴びています。今春めでたく繋がった両社の線路ですが、実は66年前（当時は京福電鉄と福井鉄道）、一時的に繋がっていたということは、あまり知られていません。今から13年前（2003年）、えちぜん鉄道が開業した当時、鉄道友の会福井支部報「わだち」96号に、このことを書かせていただきました。今回、相互乗り入れが実現しましたので、その文章の一部を加筆修正して掲載させていただきます。

「ところで、現在は数メートルの距離にありながら全く繋がっていない線路であるが、実は昔、これらの線路が直接繋がっていた時期があったのだ。京福電鉄と福井鉄道の線路が田原町駅で直接繋がっていたという噂は以前に聞いたことがあったが、半信半疑のまま時が過ぎていった。ところが先日、福井鉄道の関係者から当時の話を伺うとともに一枚の貴重な写真を譲っていただき、この噂が本当であったということが判明したわけである。この写真は、※本町通り～田原町間の延長工事が行われていた昭和25年（1950年）秋に撮影されたもので、現在の田原町商店街の道路と交差する踏切から東方面を眺めたものである。現在のフェニックスプラザ付近には何もなく、一面に農地が広がっている。左側に写っているのが京福電鉄の電車で、多分200形ではないだろうか。当時の田原町駅は停留所で駅舎らしきものはなかったようである。ポイントから分岐しているのが福井鉄道側に伸びる線路であり、京福電鉄と福井鉄道の線路が間違いなく繋がっている。

では、なぜ線路が繋がっていたのだろうか。延長工事が行われていた昭和25年頃、現在の田原町駅付近一帯は低湿な水田であったので、工事のトラックが入れるような状態ではなかったそうである。もちろん現在のフェニックス通りなんか存在しなかった。そこで、本町通り側と田原町側の両側から埋め立てをしながら線路を敷設していった。田原町駅からは夜間、京福の電気機関車（テキ6も活躍したのだろうか）が砂利・枕木・レールを積んだ貨物を牽引し、このポイントを通り福井鉄道側の線路に進



[昭和25年秋の田原町駅]

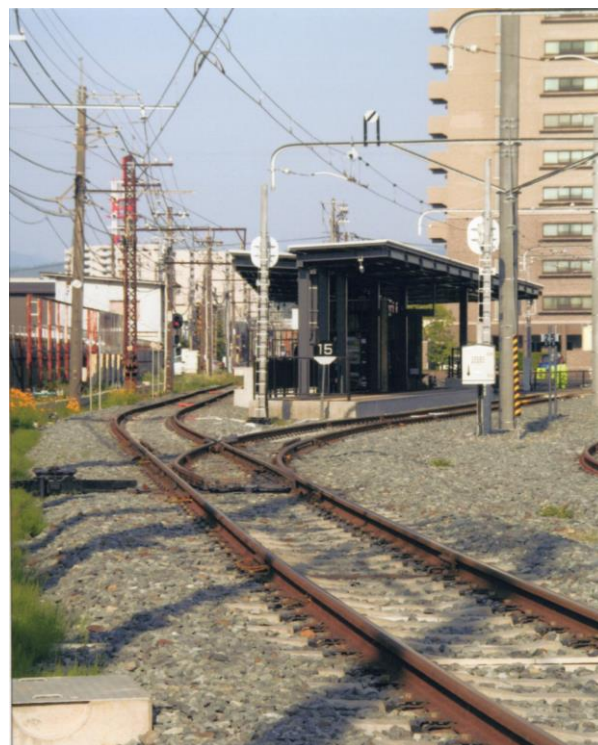
入していった。当時の福井鉄道の資料によれば、名古屋陸運局長名で『昭和25年9月7日、架設工事を認可』『10月31日から12月15日まで延期を認可』と記されている。この架設工事というのが、線路の接続工事であろうと推測される。2か月程度の接続工事予定が、工事の遅れにより延長願いがだされたのではないだろうか。いつまで線路が繋がっていたかは不明であるが、11月27日には延長工事が竣工、本町通り～田原町間1.6Kmの営業が開始された。京福電鉄の車両が工事のため福井鉄道の線路に入っていたのは間違いなが、福井鉄道の車両が京福電鉄の線路に一時的にでも入ったかどうかは定かでない。昔は田原町駅近辺に魚・青果市場があり、仲買人などで大変賑わっていたようだ。線路を繋いで、武生新（現越前武生）と三国港を結ぶ直通電車運行の計画もあったが、結局実現されることはなかった。延長工事期間中とはいうものの、一時的に線路が繋がっていたという事実は間違いなく存在する。近い将来、ぜひ接続を復活させ直通運転を実現してほしいものである。そして、えちぜん鉄道と福井鉄道の乗客が共に増え活性化することを願いたい。」

当時は、線路が繋がり直通運転が行われるなんて夢のような話だと思っていましたが、13年後に現実のものとなり感無量です。現在、朝のラッシュ時の2本の直通普通電車の他に、1時間に1本の直通急行電車が鷺塚針原～越前武生間を往復しています。使用される車両は、えちぜん鉄道が『k i - b o（キーボ）』、福井鉄道が『FUKURAM（フクラム）』で、まさに『希望が膨らむ』電車です。福井県民の希望を膨らませて永遠に活躍してほしいものです。そして、相互乗り入れ完成が中心市街地活性化に、さらには地域全体の発展に繋がってほしいものです。

※本町通り…現在の市役所前電停の交差点を挟んで南側にあった電停。（旧大名町電停）昭和25年までは、ここから急カーブで曲がり福井駅前電停に繋がっていた。田原町まで延長された昭和25年に市役所前電停が交差点北側に新設され、現在のスイッチバックの線路配置となった。なお、本町通り電停は平成14年に廃止されている。



[平成28年3月 繋がる直前]



[平成28年5月 繋がった後]

大型連休は、お寺めぐり

今年の大連休（ゴールデンウィーク）、1日だけ出かける時間がありましたので、「近場に行こう！！」と出かけたものの、気が付けは「お寺」を巡っていました。

【午前「吉崎GOBOU市へ」】

吉崎GOBOU市は、あわら市吉崎地区で毎年開催されているクラフト市です。ご存知の方も多いと思いますが、この吉崎地区は蓮如さんとの関わりが深い場所なのです。

むかし、蓮如さんが比叡山を追われて以後、北陸での布教の中心拠点に選んだ場所が吉崎です。毎年4月に盛大に開かれる「蓮如忌」は、330年続いている御忌法要で、蓮如さんの御影像を京都から吉崎まで徒歩7日間かけて運ばれるものです。その蓮如忌期間中に開催されているのがGOBOU市、そして東別院・西別院での法要。それぞれの発音の違い等を聞くことができました。

また吉崎は加賀市吉崎町との県境の地であり、北潟湖・鹿島の森・県境の館等、色んな吉崎の良い所を見てきました。（吉崎観光 じつは4回目）

【午後「大本山永平寺へ」】

午後は用事ついでに大本山永平寺に行ってきました。5年ぶりにお寺の中に入って見学しましたが前回は大晦日。見学できる場所も少なかったのですが今回は昼間だったので、修行僧の方に永平寺の建物の話が聞けたり、様々な場所の見学ができました。今回時間をかけて見学したのは、傘松閣（156畳の絵天井の大広間）承陽殿（道元禅師の御真廟）、大庫院（一般の寺院でいう台所）、山門（七堂伽藍のうち最も古く1749（寛永2）年再建の山門、修行僧が正式に入門する際の玄関）。

歩き進むにつれ「観光客と雲水さん」の温度差に触れました。厳格な厳しい修行が行われている一方、観光客がグイグイと入ってはいけない所まで踏み込んでいく。色んな面で修業なんだろうけど、何だか難しいな～と感じました。



作／漆崎 耕次



↑ 参道での GOBOU 市



↑ 吉崎名物(小女子と酒饅頭)



↑ 新緑の美しい通用門前

編集後記・・・編集委員より一言

内田（発行責任者）

「中部地区路面電車サミットと総会の準備でテンヤワニやですワ！」

林（変集長）

「左小指のじん帯損傷治療のため固定していた金具を5月7日に外した。小指が動かない。自己リハビリ開始」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>